



会 議 録

八幡市教育委員会

開 催 日 時	令和3年10月19日（火曜日） 午後3時～午後3時25分		
場 所	分庁舎2階 会議室A		
出席委員名	小 橋 秀 生（教育長） 橋 本 陽 生（職務代理者） 佐 野 恵理子	八頭司 めぐみ 狩 野 理恵子	
委員を除く 出席者の 職 氏名	部 長 辻 和 彦 部 次 長 川 中 尚 部 次 長 佐 野 泰 博 （生涯学習センター館長事務取扱） 教育総務課長 長 尾 忠 行 学校教育課長 古 住 新 社会教育課長 辻 博 之 保育・幼稚園課長 成 田 孝 一 教育支援センター所長 濱 田 将 行	教育集会所館長 畑 中 敏 之 図書 館長 佐 野 正 樹 学校教育課主幹 有 野 靖 一 学校教育課主幹 四 本 篤 史 保育・幼稚園課主幹 高 瀬 栄津子 教育集会所主幹 橋 伸 吾 教育総務課主幹 山 口 潤 也	

1. 開 会

2. 報 告 事 項

(1) 令和3年度八幡市文化賞・スポーツ賞について (社会教育課) ※資料なし

3. 議 題（協議事項）

(1) 八幡市の教育行政について

4. その他

◦意見交換(園・学校訪問等について)

5. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：11月16日（火）午後3時から

場所：分庁舎2階 会議室A

※学校訪問先

橋本小学校 (10:30)

男山第二中学校 (11:30)



	内 容
[教 育 長]	<p>1. 開 会</p> <p>それでは、令和3年10月度の定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>2. 報告事項からお願いします。(1)「令和3年度八幡市文化賞・スポーツ賞について」、事務局より報告願います。社会教育課。</p>
[辻 課 長]	<p>2. 報 告 事 項</p> <p>(1) 令和3年度八幡市文化賞・スポーツ賞について</p> <p>令和3年度八幡市文化賞・スポーツ賞についてご報告申し上げます。</p> <p>本市の文化及び体育・スポーツの分野で貢献のあった個人・団体に対し、その榮譽をたたえるため、毎年開催をしております八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰式を、11月3日、午後2時から文化センター小ホールにて開催いたします。今年度は個人・団体を含め、文化賞6件、スポーツ賞11件の受賞となっております。</p> <p>教育委員の皆様におかれましては、ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご臨席を賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p>
[教 育 長]	<p>只今の報告事項につきまして、委員よりご質問、ご意見等はございませんか。よろしいですか。それでは、無いようでありますので、これにて報告事項を終結いたします。</p> <p>次に、3. 議題に入らせていただきます。(1)「八幡市の教育行政について」を議題といたします。</p> <p>3. 議 題 (協議事項)</p> <p>(1) 八幡市の教育行政について</p>
[教 育 長] [狩 野 委 員]	<p>本日、案件はございませんが、委員の皆様からご意見・ご質問等、何かおありでしょうか。</p> <p>お世話になります。昨今、新聞紙上で、コロナ禍で不登校になるという小中学生がとて多様なニュースをよく見かけるんですけども、八幡市においてはどのような状況かということと、どういう点でご配慮をされているかということをお聞かせいただけたらありがたいかなと思います。よろしくお願いします。</p>
[濱 田 所 長]	<p>全国のほうでも増加の傾向にあるという報告があります。八幡市においても、小学校の令和2年度は1.08%、全国の令和2年度は1.1%でした。なので、小学校についてはほぼ同じ率かなと思います。中学校においては、八幡市は令和2年度、5.7%でした。全国のほうは4.09%ということで、中学校におきましては八幡市が多くなっております。</p> <p>要因としましては、小学校では親子関係が全国と比べて高くなっております。中学校では家庭の生活環境や親子関係で、そして本人の遊び・非行などが高くなっておりますが、不登校の要因としましては1つだけではなく、多くの要因が重なり合っていますので、教育支援センターとしましても他機関と連携しながら福祉面とか教育面とか、そういった面で支援をしております。</p> <p>以上です。</p>
[橋 本 委 員] [濱 田 所 長]	<p>コロナの影響については、如何ですか。</p> <p>要因としましては、例年とそれほどは変わっていませんで、多少コロナの影響で、学校へ登校し辛かったところがあったかもしれませんが、それほどの大きな事にはなっていないと思っています。</p> <p>以上です。</p>
[教 育 長] [佐 野 委 員]	<p>他にご意見・ご質問等はございませんか。</p> <p>八幡市内の4つの中学校のトイレに無償でナプキンを設置するという配慮をされた八幡市教育委員会にすごく敬意を表しました。以前は、個人に保健室で1つずつ渡すという方法だったと思いますが、なかなか受け取りに行け無い子ども達の事を考慮し、実証実験ですけれど始められたことは素晴らしいと思います。置かれているそのケースに、「何かあったら保健室・先生に相談に来てくださいね。」という優しいメッセージも付けるところがすごく八幡市らしいと思いました。今後、問題なく進められる事を切に願っています。1点、川中次長にお伺いしますが、設置後の生徒さんからの声と1日の使用減数量をもしお分かりでしたら教</p>



[川中次長]	<p>えていただけますか。</p> <p>生理の貧困に係る支援の部分ですが、全ての学校から聞いているわけではありませんが、現在私共の方で使用数をつかんでいるのは、概ね、1個とか2個とかが1日に無くなっていくというふうに学校のほうからは聞いております。私共、どんな形で実際に無くなっていくのかなど、心配していたところはあるんですけども、逆にまたいたずらであるとか、そういうことも心配されていたんで、今のところ全くその様な報告は聞いていないです。本当に全く4校とも聞けていませんが、スムーズな滑り出しではないかと思っています。新聞等にも記載されていましたが、言い出せ無い子どもたちが一定数はいたのかなというふうには思っているところですので、その形での支援、またその次の支援を如何に正確に教職員の信頼関係に繋げて、それを正しく支援に持っていくところが次のステップになってくると考えていますので。まずは、必要な子どもたちに手渡すことができるのであれば、このことは非常に良いことだと私共も思っているところでございます。</p>
[教育長]	<p>他にご意見・ご質問等はございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>ないようでありますので、これにて本日の議題を終結いたします。</p> <p>次に、4. その他に入らせていただきます。本日の園・学校訪問、橋本幼稚園、中央小学校について、ご意見はございますか。</p> <p>4. その他</p> <p>・園・学校訪問</p>
[狩野委員]	<p>ありがとうございます。今日も1園、1校を訪問いたしました。橋本幼稚園のほうでは、近畿の国公立幼稚園・こども園長会研究会の発表ということで、10月から12月頃まで、IDとURLを各園の園長に配布し園内で研究発表動画を見学出来るようです。しかし、現在の教育は高校までを見据えて資質・能力を高める動きになっているので、ぜひ研究発表動画を市のホームページに掲載し、小学校、中学校の先生方にも見学していただければ、市内の幼稚園の教育は、人格形成の基礎をつくることを先生方に知っていただく機会として、行政として広めるような機会としてぜひ市のホームページに掲載していただけたら良いと思いました。中央小学校の訪問時は、特別支援教育充実事業がすごく効果を上げていて、校長先生のほうから前向きになれるお話をお聞きできました。学校の中でも整理整頓ができていて、先生方が一生懸命取り組んでこられて、学級力が上がっていると思いました。八幡市でこのように頑張っていってらっしゃる園、学校がございまして、それをもっともっと発信できる機会というものをまずは市の中で行っていただけたらなと願っています。</p> <p>以上です。</p>
[教育長] [橋本委員]	<p>ありがとうございます。ほかにご意見等はございませんか。</p> <p>今日は黙っていようかなと思いましたが、せっかく学校訪問をさせていただきましたので。一言発言させていただきます。コロナ禍の中で研修あるいは情報伝達等々が出来そうで出来無い部分が有り、今日も橋本幼稚園で長時間に渡り積み重ねの研究発表というもので尽力いただいている事をお聞きをしました。八幡市の行政のほうからも非常に大きな支援を頂いていると、広くいろんな方からご助言を頂いて、出来上がっているような発表内容でございました。非常に素晴らしいなと思います。毎回申していますが、やはり八幡市としても就学前教育というものに力を入れるというふうな方向で進んでおりますので、私も就学前については専門でもありませんし十分な知識もありません。教育委員のほうには狩野委員、それから八頭司委員、幼稚園、それから保育の両方から来ていただいて、非常にいろいろなアドバイスを頂きながら理解を深めているところですけども、私なんかはどうしても、いわゆる小・中・高、特に中学校、高校とか、そういうレベルでの育ちのイメージを持っているもので、なかなか就学前と小学校をつなげる部分の話合いの中でギャップを感じる場所があると。恐らく繋がっていると思いますが、相互理解には一定の時間が必要だと思います。恐らく現場の先生も、幼稚園、小学校、あるいは将来的には中学校の先生あたりも含めた、その繋がりがや接続の部分で色々な考え方に大きなギャップがある事を感じているところですので。せっかくこれだけ長い時間をかけて、専門家の方に援助を頂いて素晴らしいまとめをさ</p>



れていますので、この機会を逃さずに、実践を通じた研修会や情報交流を通じて共通理解を八幡市の中でつくり上げて、行政も含めてですね、そしてこの就学前教育に当たっていくと。非常に大事な時期にある、また、この研修会、発表の資料というのか実践の中身を見るにつけ、その必要性を感じたところです。ぜひ、行政、それから園、そして小学校、もちろん中学もいいかと思えます。まず、八幡市の中でこれだけのものをつくられたので、これを基に相互教育、研修という機会をぜひつくっていただきたいと思えます。中央小学校のほうでありますけれども、特別支援教育充実事業、いわゆる学力と違って、学力につながるものですが、学級集団の中における人間関係というんでしょうか、あるいは、自分たちの力で意見を交換し課題に気づき、そしてそれを改善する力を育てようとしている取組だとお聞きしました。これは早稲田大学の田中博之先生 (https://w-rdb.waseda.jp/html/100001018_ja.html) の指導を受けて、長年にわたって国語の教育、そして、今回は学級力ということでご指導を頂いているようでありますけれども、中央小学校にふさわしいというんでしょうか、非常に困難な、あるいは特別支援を必要とする、そういう生徒も増えてきております、この様な実態の中で、今日も学校の見学もさせていただきましたけれども、特別支援学級の学力というんでしょうか、理解が非常にほかのクラスよりもいいんじゃないかなと、こういうふうな実態もお聞きしました。非常にこう言うんでしょうか、人間関係づくり。これ、子どもたち同士の間関係づくり、先生方の人間関係づくり、先生と子どもたちの人間関係づくり、それから、保護者と学校の先生の間関係づくり、この一人一人のつながりを大事にするというのがかなり幅広く深く浸透しているという取組をされているんじゃないかなと思えました。非常に重い教育の原点というのか、一番大事にすべき、あるいは社会人を育てる一番中心的な問題を、この学校力向上プロジェクトとしてまとめ上げようとしています。

これは近々、この田中教授がまとめられて報告されるようでもありますけれども、また近い機会に中央小学校でそういう研修の場を持たれるということも聞いております。八幡市以外のところからも参加希望があるということもお聞きしているわけでもありますけれども、今言ったような内容でありますので、教育委員も参加させていただけるのかどうか。こういうふうな辺りの希望も伝えながら、ぜひこういう場を大事にして学ばせていただきたいと思っております。

[教育長] それではそのほか、何かご質問・ご意見等は、ございますか。無いようでありますので、これにてその他を終結いたします。

[長尾課長] 次に、次回定例教育委員会の日程について、事務局より説明願います。

次回の定例教育委員会の日程でございます。11月16日（火曜日）午後3時から分庁舎2階の会議室A、この場所で予定をしております。

学校訪問につきましては、10時30分から橋本小学校、11時30分から男山第二中学校を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

[教育長] **5. 閉会**

ほかに何かよろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして、10月度の定例教育委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。